



今年の敬老会は残念ながら、面会制限の中で行われました。大きな舞台での余興や外部ボランティアの参加などはできませんでしたが、各事業所でお祝い御膳と紅白饅頭が振舞われ、風和の里では神輿が、寿限無では中国獅子舞が、職員によって行われました。ある入居者様は、「家族との面会ができないことに残念な思いをしていましたが、家族が健康で、自分自身も元気に過ごしていることに感謝しています。皆さんと敬老の日を迎えられて嬉しいです。」とおしゃっていました。敬老の日、おめでとうございます。



寺小屋の活動様子です。上の写真は、半紙に色を染み込ませ、うちわを作っている様子です。下の写真は、お花紙でコスモスを作っている様子です。針金に丁寧に花と葉を巻きつけました。「1人では難しいけど、手伝ってもらうことでようやくできました。」と喜んでいました。



グループホームの皆さんで、中秋の名月を楽しもうとお団子を作って楽しみにしていましたが、残念ながら悪天候のためお月見はできませんでした。翌日に延期してお月見を楽しみましたが、雲に隠れてまたもやお月様は現れず。それでも夜風にあたって心地の良い夜でした。

随 ずっとらばし

今日は何をしてもダメ。そんな日が誰しもあるのではないかと思います。そしてそんな時にどうするのか。私の場合は大声で歌をうたいます。大抵はカーステレオの音量をこれでもかと上げ、大好きなグループ「ONE OK ROCK」や「Alexandros」「ヤバイTシャツ屋さん」の曲をかけて、マスクなんて外して臆面もなく歌います。すれ違う車や、隣で信号待ちをする車から痛いほどの視線を浴び、さっと目を逸らされる事もしばしばですが、良いのです。どうせ何をしてもダメな日ですから。

以前であれば、ライブに繰り出して、全く知らない人と肩を組んで、頭を振って、もみくちゃになりながら大声で叫ぶ。そんな非日常が気持ちをリセットさせてくれていました。ですが、外出自粛が常態化し、非日常を体験する機会が減った今、もどかしい思いを感じることもあります。それでも、以前のように、知らない人同士が屈託なく距離を縮めて、笑い合える日が来る、そう信じるからこそ、もどかしい気持ちを抑え、自粛に努めることができます。

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。
今月は風和の里の米澤美幸さんです。



せいひ会だより

2021年(令和3年)
10月1日発行
＜第258号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



面会再開のお知らせ



各施設での面会を10月1日(金)より再開しました。ご希望の方は身元引受人を通じご予約ください。なお、感染動向によっては、予告なく面会を中止する場合があります。面会に際しては、マスクや手指消毒などの感染予防にご協力ください。

9月の行事

4日	誕生会	(通介)
7日	敬老会	(風和)
20日	敬老会	(寿限無・元亀)
21日	お月見会	(風和・GH)
上旬	種まき	(通介)

10月の行事予定

3日	敷地内ピクニック	(GH)
6日	誕生会	(通介)
中旬	寺小屋	(通りハ)

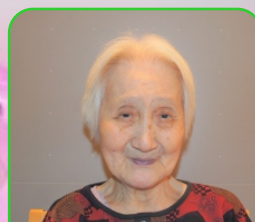


食欲の秋！
美味しいものを食べて健康に！





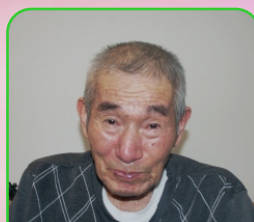
元亀の里
澤田節子様



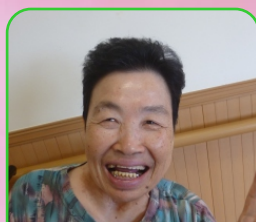
元亀の里
下村英子様



元亀の里
志田エイ様



元亀の里
村上富佐雄様



じゅげむ
松本テル子様



グループホーム
川本豊彦様



グループホーム
田崎マス子



グループホーム
北村サミエ様



通所介護
太村昭子様



通所介護
一瀬文美子様



丘の家
松崎満様



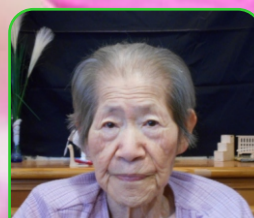
通所リハビリ
山下アキヘ様



通所リハビリ
廣畝文夫様



風和の里
辻尾幸子様



風和の里
田崎チヨ様



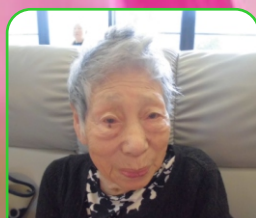
風和の里
山領 恵子様



風和の里
川口清人様



風和の里
山崎ミツル様



風和の里
長岡久子様



元亀の里
廣瀬フサノ様

バースデーインタビュー

昭和7年9月1日に佐世保の南風崎生まれで、今年で89歳になりました。19歳の時に結婚し、子ども1人孫2人がいるそうです。得意料理は押し寿司や巻き寿司、煮物などで、よく作っていたそうです。若い時には百姓をしたり、真珠の会社に勤めていたとのこと。「もうこんなに年を取ってしまったよ。だけどまだまだ長生きしたいね。」と元気におっしゃっていました。元亀の里での楽しみはご飯を食べたり、皆とお話すること。最近はオリンピックと甲子園をテレビで見ることでとおっしゃっていました。犬が好きで自宅には3代目のパグの空（くう）がいて、お部屋に写真も飾っておられます。ご家族様のことをいつも気にされていて、「いつもありがとう、これからも身体に気を付けて頑張っね。」と話されていました。ご家族に気軽に会える日を楽しみに、毎日を過ごされている廣瀬フサノ様でした。



グループホーム共同作品



グループホーム共同作品



楠本サイ子様



荒瀬美智子様



通所介護共同作品



寺小屋共同作品



寺小屋共同作品

今月の作品紹介です。

職員紹介



吉村叶梨美

昨年4月から寿限無で看護師をしています。長崎出身で大学卒業後9年間は関東で病院勤務、次女出産後に家族で帰崎しました。

日々の業務では、一番近く長く接する介護職の声を大切にし、入居者様の健康状態に合ったケアを提供する事、コロナ禍で面会が叶わず寂しい思いでおられる利用者様の心に寄り添える存在である事を目標に頑張っております。